



BELLE MAISON

株主通信

(第62期中間事業報告書)

[平成18年1月1日～平成18年6月30日]

株式会社 千趣会

証券コード：8165

株主の皆様へ

代表取締役社長

行待 裕弘
YASUHIRO YUKIMACHI



株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成18年6月30日をもって、第62期（平成18年1月1日から平成18年12月31日まで）の中間決算を行いましたので、ここに経営成績と共に事業の概況をご報告申し上げます。

目次	
株主の皆様へ	2
経営方針	2
当社グループの経営成績	4
当社グループのトピックス	8
当中間期及び3期分の連結要約財務データ	10
中間連結財務諸表	12
中間単独財務諸表	13
会社概要と株式会社のご案内	14

経営方針

1. 経営の基本方針

当社グループは、「良い商品」「良いサービス」をお客様に提供することを通じて、社会に貢献することを基本理念としています。

また、株主・顧客・取引先の皆様及び従業員など、すべての関係者と共存共栄を図り、企業価値を高めることを行動の指針としています。

2. 利益配分に関する基本方針

当社グループは、経営基盤の強化を図ると共に、株主各位に対しましては、安定的な配当率の維持及び適正な利益還元を基本としています。

内部留保金につきましては、新規事業の開発活動及び既存事業の効率化を推進するための投資、財務体質のより健全化等に活用し、企業競争力と企業体質の更なる強化に取り組んでまいります。

3. コーポレート・ガバナンスに関する基本方針

当社グループは、企業活動において株主、顧客、従業員、取引先、地域社会といった様々な利害関係者への社会的責任を果たすために、「コーポレート・ガバナンス（企業統治）」を必要不可欠なものとして認識し、透明性の高い経営システムの構築を図り、有効に機能させることが重要であると考えております。

本年5月には「内部統制に関する基本方針」を定め、取締役の監督責任の明確化、グループ会社を含めたコンプライアンス（法令遵守）体制の強化、リスク管理体制の整備、監査役の独立性の確保及び体制の強化について取締役会で決議し、コーポレート・ガバナンスの充実を図っております。

4. 中期的な経営戦略

当社グループは、平成19年12月期（第63期）を最終年度とする『中期経営計画』を策定し、実行しております。

(1)『中期経営計画』の基本方針

- ① 中核事業の収益力強化
カタログ通販事業、特に20代後半から30代女性を中心顧客とした既存分野については、無理な売上拡大は狙わず、収益力の強化に重点を置きます。
- ② 成長分野への積極投資
20代から40代への「顧客年齢層の拡大」と、インターネット・店舗への「チャネルの拡大」による売上成長を実現するため、積極的な投資を行います。
- ③ ブランド価値向上
「すごくトキメク、とてもワクワク」をスローガンとして、お客様の心に響く「ベルメゾン」になるための活動を全社員が徹底的に行います。

(2)『中期経営計画』の当中間期における取り組み状況

- ① SCM（商品供給一連管理）の推進
毎月各指標の推移をチェックし随時見直しを図っております。また改善のためのシステム構築や組織変更も行っております。
- ② カタログ・ポジショニングの見直し
それぞれのカタログのポジショニングを見直した結果、今年度は媒体の新たな発刊と既存媒体の廃刊を行いました。今後も見直しを継続して行います。

- ③ 顧客基盤を20代から40代の幅に広げる
 - ・ 20代・・・20代向けのネット・モバイルによる商品販売やサービスを強化中です。また株式会社ディー・エヌ・エー（DeNA）との間で携帯電話専用ショッピングサイト「モバコレ」を立ち上げました。
 - ・ 40代・・・40代をターゲットとしたファッションカタログ「Rashisa（ラシサ）」及びインテリアカタログ「Luxe Living（リュクスリビング）」を発刊し、売上は順調に推移しております。
- ④ インターネット利用の拡大
ベルメゾンネットの更なるコンテンツ強化によりインターネット売上は、当中間期273億円（前年同期比24.6%増）、うち純ネット売上115億円（前年同期比62.0%増）となっています。また携帯電話による売上も順調に拡大しております。
- ⑤ 店舗事業の展開
現在6店舗を出店しております。今後も最良の店舗モデルを模索しながら順次店舗展開してまいります。
- ⑥ 商品企画・開発力の強化
「商品開発プロセス棚卸・再設計プロジェクト」を立ち上げました。今後とも各開発部におきまして商品企画・開発力強化のための施策を推進してまいります。
- ⑦ サービスの強化
お届け日数の短縮、問合せ対応時間の短縮等、様々な顧客サービスの強化に取り組んでおります。

当社グループの経営成績

1. 当中間期の概況

[全般の状況]

当中間期におけるわが国の経済は、企業の設備投資、個人消費という内需の両輪がバランスを保ち、景気は緩やかな回復から拡大に向け順調に推移しております。しかしながら今後の見通しにつきましては、アメリカの景気減速や株安の他、原油価格の高騰や金利の上昇など、景気の先行きを左右するリスクも残っております。流通業界におきましては、個人消費の回復基調はあるものの、業態間・企業間の優劣や格差、天候不順などの影響が見られます。

通信販売業界におきましては、ネット通販企業や携帯通販企業、またTV通販企業の売上は伸びてきておりますが、総合カタログ通販企業はいまだ伸び悩んでおります。また業態間を越えたM&Aや業務提携といった動きが活発になってまいりました。このように競争環境が激化する中、価格や商品・サービスに対する消費者の選別は依然厳しく、当社を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおきましては、このような状況のもと、平成19年度を最終年度とする『中期経営計画』の2年目として重点戦略を推進しております。

この結果、当中間期の売上高は748億43百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

利益面に関しましては、原価率の低減により売上総利益率は前年同期比1.1ポイント上昇いたしました。

一方で販売費及び一般管理費の比率は前年同期比0.1ポイント上昇しております。以上により、営業利益は25億29百万円(前年同期比42.0%増)、経常利益は25億79百万円(前年同期比30.3%増)となりました。中間純利益につきましては、前中間期に計上いたしました減損損失の影響がなくなり、前年同期比で26億40百万円増加し、20億35百万円となりました。

[株主への営業成績]

当中間期の営業成績につきましては、売上高は740億50百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

利益面におきましては、原価率の低減による売上総利益の増加により、営業利益は18億38百万円(前年同期比47.2%増)、経常利益は21億8百万円(前年同期比14.0%増)となりました。

また、中間純利益は18億30百万円(前年同期比18億64百万円増)となりました。

(株)千趣会における剰余金の配当につきましては、当期業績ならびに今後の経営環境等、諸般の情勢を勘案すると共に、安定的な配当率の継続も重視いたしております。また、年間配当性向30%を目標に株主利益還元を目指しており、当中間期におきましても1株当たり10円の中間配当を実施いたします。

なお、期末配当金につきましては、前述の方針に基づき1株当たり10円とし、当期の年間配当金は合計で20円を予定しております。

2. 事業別概要

[通信販売事業]

カタログ事業と頒布会事業を合わせた通信販売事業の当中間期の売上高は717億57百万円(前年同期比0.6%増)となり、営業利益は24億15百万円(前年同期比33.0%増)となりました。

(1) カタログ事業



BELLE MAISON

カタログ事業では、現在18種類のカタログを通して様々な生活提案と共に千趣会らしさにこだわった商品をお届けいたしております。

昭和51年のスタート以来、ファッション衣料を中心として服飾雑貨、インテリア、日用雑貨からマタニティ用品、子供服に至るまでの様々なジャンルの商品を「生活スタイルのナビゲーター」として会員の皆様のニーズにあわせてお届けし、支持を得てまいりました。

当中間期も、「すぐくトキメク、とてもワクワク」のローガンのもと、各媒体のポジショニングの見直しを行っております。

その結果、当中間期の売上高は634億15百万円(前年同期比4.0%増)となりました。



■ 私たちの住まいと雑貨
インテリアや収納用品、家具やファブリック、コスメ、生活雑貨など毎日の暮らしに必要な商品インデックス編集で。
年4回発行



■ ホームベース
使いやすいと機能的、無駄を省いたシンプル仕様、しかもセンスのいいインテリアやファブリックのオリジナルブランド。
年2回発行



■ 私たちの暮らす服
あそぶ、はたらく、くつろぐ、ねむる。特別じゃない毎日を気持ち良く過ごせる服をラインナップ。カジュアル、オフィス、インナー、ファミリーウェアなど豊富なバリエーションを納得価格で提案。
年4回発行



■ ママ&ベビー
マタニティライフを応援するカタログ。オシャレなマタニティウェアからインナー、フォーマルウェアまでバラエティ豊かに提案。
年2回発行

当社グループの経営成績

(2) 頒布会事業



頒布会事業は、オフィスで働く女性を中心に、グループ及び個人の会員の皆様に、毎月定期的に商品をお届けするという販売形態をとっており、他の通販会社とは異なる独自のシステムで事業を展開しております。

お届けしている商品は雑貨・食品を中心にコレクション性の高い、様々なアイテムを取り揃えており、そのほとんどは市販の商品には見られないオリジナリティの高い商品です。

平成16年に発足いたしました(株)ベルメゾン・サービスセンターが、全国の大口職域グループに特化し、きめ細やかな顧客サービス及び販売促進を行い、職域会員の継続向上に貢献しております。しかしながら、売上高・会員数ともに対前年同期比において減少という結果となりました。

当中間期の売上高は83億42百万円(前年同期比19.4%減)となり、月次平均会員数は60万4千人となりました。



● マンスリークラブ
ママのわたし編



● マンスリークラブ
働くわたし編

当中間期の主な新商品

- 月の和カード
季節を彩る和のカードセット。
- 15分で！プロ級おかず
有名店に教わる15分レシピ。食材からレシピを探せる使いやすいクッキングブック全12巻。
- プチ・アクセソワール
天然石の本物の輝き。天然石ネックレス、ピアス、イヤリングなど3つのコース。
- ノシュア
コワザを効かせた、かわいいトップス、キャミのエンドフリーシリーズ。
- ちょこちょこBOOK キャラクター雑貨シリーズ
和のちょこちょこキャラクターが活躍する手ぬぐいやそばちょこ、レターセットなど新雑貨シリーズ5点。
- スードルオンスープ
OLランチにぴったりのヌードル。バラエティに富んだこだわり麺と相性バツグンのスープのセット、2種類入って計4食入。フリーズドライで簡単に作れます。
- Kinomi (キノミ)
トップス、パンツ、スカートなど組み合わせで届く、お出かけしやすくなる部屋着。
- 映(はゆ)プレミアム
従来の金箔打紙製法にタンニンなどを手作業で染み込ませた本格派の油取り紙。



● 大好き！手作り号



● ツキイチウラ



● 月の和カード



● 15分で！プロ級おかず



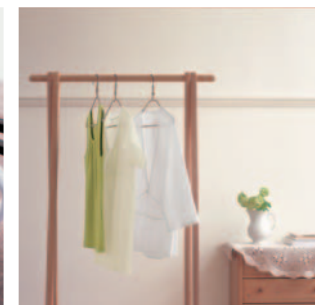
● プチ・アクセソワール



● ちょこちょこBOOK
キャラクター雑貨シリーズ



● スードルオンスープ



● Kinomi (キノミ)

[その他の事業]

旅行・クレジットなどを主とするサービス事業と、運送事業及び店舗事業、また法人向けの商品・サービスを提供する法人事業などを合わせた、その他の事業の当中間期の売上高は、30億86百万円(前年同期比4.8%増)となり、営業利益は95百万円(前年同期比1億76百万円増)となりました。

3. 通期の見通し

今後の見通しとして、日本経済は、設備投資の増加と雇用の改善に伴う消費の下支えが成長持続の柱になり、景気の拡大基調が続くものとみられます。しかしながら、国内景気は次第に成熟段階に入っていくものと考えられると共に、長期に亘る原油価格の高騰を背景とした物価の上昇が予想される一方で、「ゼロ金利政策」の解除による金利の上昇も予測され、消費者心理への影響等、消費を取り巻く環境において懸念される側面もあります。また当社が属する流通業界におきましては、店舗やカタログ販売、インターネット販売等、販売チャネル間の競争も激しく、引き続き厳しい経営環境にあるものと思われまます。

こうした環境下ではありますが、当社グループの今期の売上高は前期実績を約15億円上回る1,470億円を予想しております。また利益面につきましては、経常利益は47億円、当期純利益は35億円の見通しです。

今後とも、当社グループ一丸となって更なる企業価値の向上に全力を尽くす所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当社グループのトピックス

●靴の専門カタログ&ジュエリーカタログを創刊

靴の専門カタログ「シューズパーク」を平成18年1月に創刊しました。履き心地を大切にした機能的なオリジナルシューズ「ベネビス」をメインブランドに、人気のスニーカーブランドやトレンドシューズなどを豊富に品揃えしています。また、4月にはジュエリー&アクセサリーのカタログ「J fill (ジェイフィル)」を新創刊。ダイヤモンドやプラチナなどクオリティの高いジュエリーからキュートなアクセサリーや時計など、女性を美しくエレガントに演出してくれるアイテムが満載です。



シューズパーク



J fill

●美しい40代のためのカタログ「Rashisa (ラシサ)」が誕生

子育てが一段落してライフスタイルが変わる40代女性をターゲットに、裁断パターンからシルエット、サイズに至るまですべてを独自開発したオリジナルファッションブランドカタログ「Rashisa (ラシサ)」を2月に創刊しました。一般的なレディースサイズより1~2センチ程余裕を持たせたシルエットラインを作成。ボディシルエットが美しく見えるように、業界でよく用いられる平面裁断ではなく立体裁断を採用しました。また、2週間ごとにカタログと異なるコーディネートネット上 (<http://www.bellemaison.jp/rashisa>) で発信する初の試みを実施しています。



Rashisa

●ネット限定セレクトショップ「Éditer (エディテ)」オープン

総合オンラインショップ「ベルメゾンネット (<http://www.bellemaison.jp>)」内に、約40に及ぶ国内人気ブランドの新着商品を取り揃えたネット限定セレクトショップ「Éditer (エディテ)」 (<http://www.bellemaison.jp/select>) を2月にオープンしました。

ターゲットはファッションを楽しみたい20代から30代の女性。各種ブランドを組み合わせたコーディネートを発信し、旬を逃さない最新の流行アイテムを早いサイクルで続々と投入することで、従来のカタログ通販では取り込めなかった購買層を開拓していきます。



Éditer (エディテ)



●携帯ショッピングサイト「モバコレ」スタート!

今年2月、株式会社ディー・エヌ・エー (DeNA) と株式会社モバコレを共同で設立 (資本金: 2億円、出資比率: DeNA51%、千趣会49%)。4月に携帯専用のショッピングサイト「モバコレ (モバイルコレクションの略称)」がスタートしました。10代後半から20代前半のトレンドに敏感な女性を狙い、人気のファッションアイテムをモバイルのみで販売。急速に拡大しているモバイルeコマース市場において若年層の新規顧客の獲得を目指します。



※一部の携帯機種ではご覧いただけない場合がございます。ご了承ください。



●環境PRイベント「2006ベルメゾンの森キャンペーン」を実施

当社の海外植林事業について皆様にご存知いただくため、3月にお客様参加型環境イベントとして始めた「2006ベルメゾンの森キャンペーン」は約3ヶ月で、予定の苗木3000セットを完売いたしました。本キャンペーンは参加番号の入ったステッカー付きのジュンベリーやローレル (月桂樹)、さくらんぼを1本1500円で購入し自宅で育てていただく企画。売上の大半を、ノーベル平和賞受賞者であるワンガリ・マータイさん (ケニア) が創設した「グリーンベルト運動」に寄付いたします。



●プライバシーマークの認証を取得いたしました

当社は6月8日付で個人情報の保護レベルを評価する「プライバシーマーク」の認証を取得いたしました。「プライバシーマーク」とは、財団法人日本情報処理開発協会 (JIPDEC) が行っている「個人情報保護に関する事業者認定制度」で、一定の審査基準を満たすことにより取得できます。対象となる個人情報は、顧客情報・株主情報はもちろん、従業員情報や採用情報など自社で保有するすべての個人情報を対象としています。今後も、個人情報の保護管理体制のさらなる構築と厳正な運用に努めてまいります。



●「千趣留学生奨学財団」が今年設立15周年を迎えました

「千趣留学生奨学財団」は、アジア諸国の私費留学生に対して奨学金を給付することで留学生に対する教育を振興し、近隣諸国との友好や親善に寄与することを目的に、平成3年に設立されました。現在までの奨学生総数は累計468名に達しました。財団では、奨学生が現在の学習や研究生活でより有意義な時間を過ごせるような運営を心がけています。イベントや交流会の開催を通じて、奨学生相互の交流を図るとともに、地域や社会の様々な人々との接点を設けて、異文化を理解し、友好を深める場を提供しております。今後とも設立の趣旨を忘れることなく事業を推進してまいります。



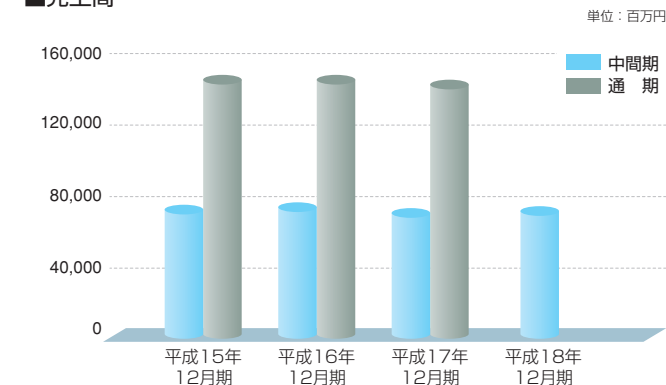
当中間期及び3期分の連結要約財務データ

単位:百万円(単位未満切り捨て)

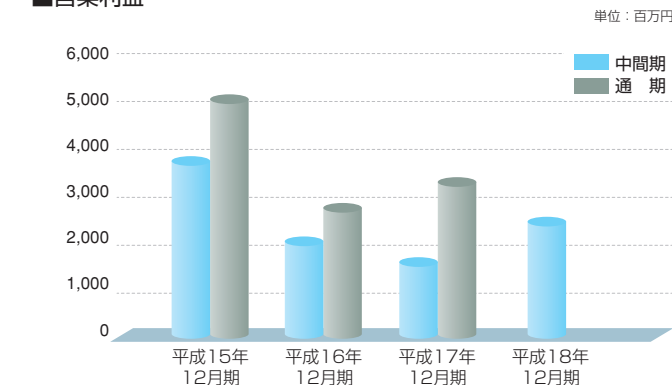
	平成15年12月期	平成16年12月期	平成17年12月期	平成18年12月期 中間期
売上高	147,607	147,159	145,453	74,843
営業利益	5,057	2,921	3,432	2,529
経常利益	4,041	3,033	3,962	2,579
中間(当期)純利益	1,819	1,231	1,267	2,035
設備投資額	661	528	2,138	1,064
減価償却費	2,502	2,289	1,806	812
総資産	87,269	87,560	92,788	90,087
有形固定資産	29,705	28,236	25,605	25,496
純資産	47,183	47,135	52,519	54,139
有利子負債	709	514	517	387
1株当たり(単位:円)				
中間(当期)純利益	40.81	28.81	27.44	44.27
純資産	1,105.80	1,122.20	1,143.12	1,173.78
自己資本比率(単位:%)	54.1	53.9	56.6	60.0
自己資本利益率(単位:%)	3.9	2.6	2.5	3.8
株価収益率(単位:倍)	29.3	30.1	54.7	27.6

(注)平成18年12月期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号 平成17年12月9日)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日)を適用しております。これによる影響は軽微であります。

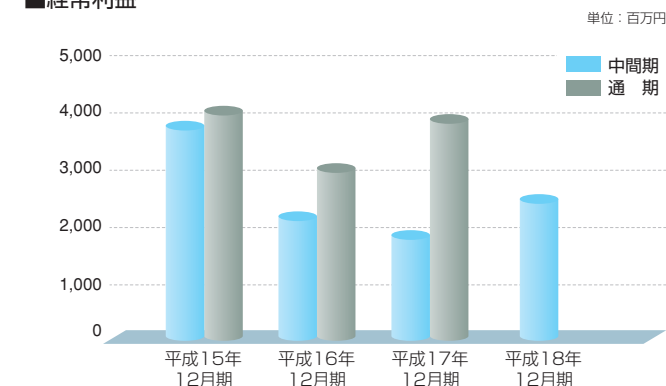
■売上高



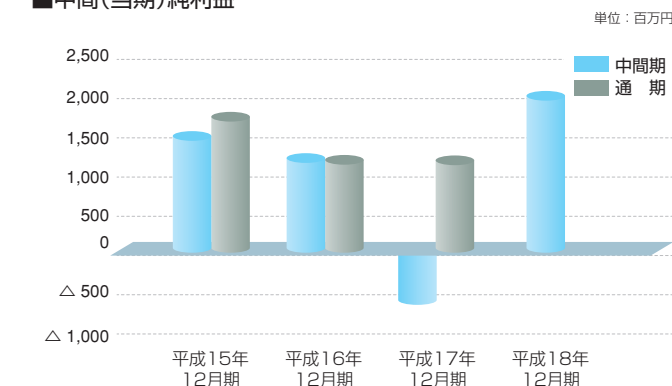
■営業利益



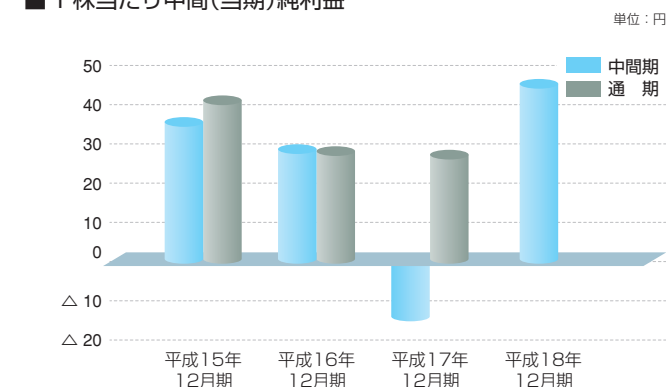
■経常利益



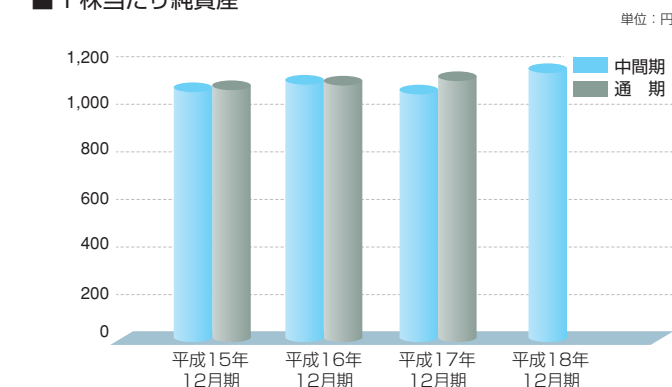
■中間(当期)純利益



■1株当たり中間(当期)純利益



■1株当たり純資産



中間連結財務諸表

■中間連結貸借対照表

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科目	前中間連結 会計期間末	当中間連結 会計期間末	前連結 会計年度末
	平成17年6月30日現在	平成18年6月30日現在	平成17年12月31日現在
【資産の部】			
流動資産	46,689	46,563	49,532
固定資産	39,815	43,523	43,256
有形固定資産	26,743	25,496	25,605
無形固定資産	1,215	1,828	1,475
投資その他の資産	11,856	16,198	16,175
資産合計	86,504	90,087	92,788
【負債の部】			
流動負債	33,790	33,595	37,567
固定負債	3,112	2,352	2,659
負債合計	36,903	35,947	40,226
【少数株主持分】			
少数株主持分	42	-	43
【資本の部】			
資本金	20,359	-	20,359
資本剰余金	20,648	-	20,657
利益剰余金	16,881	-	18,438
土地再評価差額金	△7,371	-	△7,462
その他有価証券評価差額金	416	-	1,719
為替換算調整勘定	△37	-	△40
自己株式	△1,337	-	△1,153
資本合計	49,558	-	52,519
負債、少数株主持分及び資本合計	86,504	-	92,788
【純資産の部】			
株主資本	-	59,951	-
資本金	-	20,359	-
資本剰余金	-	20,715	-
利益剰余金	-	19,919	-
自己株式	-	△1,041	-
評価・換算差額等	-	△5,867	-
その他有価証券評価差額金	-	1,205	-
繰延ヘッジ損益	-	429	-
土地再評価差額金	-	△7,462	-
為替換算調整勘定	-	△39	-
少数株主持分	-	55	-
純資産合計	-	54,139	-
負債純資産合計	-	90,087	-

■中間連結損益計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科目	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前連結 会計年度
	平成17年1月1日から 平成17年6月30日まで	平成18年1月1日から 平成18年6月30日まで	平成17年1月1日から 平成17年12月31日まで
売上高	74,295	74,843	145,453
売上原価	38,659	38,075	75,173
売上総利益	35,635	36,767	70,279
販売費及び一般管理費	33,854	34,238	66,847
営業利益	1,780	2,529	3,432
営業外収益	280	289	686
営業外費用	82	239	156
経常利益	1,979	2,579	3,962
特別利益	47	57	48
特別損失	1,869	82	2,251
税金等調整前中間(当期)純利益	157	2,553	1,759
法人税、住民税及び事業税	227	188	308
法人税等調整額	534	314	181
少数株主利益	0	15	1
中間(当期)純利益(△は損失)	△605	2,035	1,267

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科目	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	前連結 会計年度
	平成17年1月1日から 平成17年6月30日まで	平成18年1月1日から 平成18年6月30日まで	平成17年1月1日から 平成17年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	705	1,355	2,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,857	△1,454	△5,086
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,797	△416	2,625
現金及び現金同等物の減少(増加)額	645	△515	78
現金及び現金同等物の期首残高	11,242	11,320	11,242
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	60	-
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	11,887	10,865	11,320

中間単独財務諸表

■(株)千趣会 中間貸借対照表

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科目	前中間 会計期間末	当中間 会計期間末	前事業年度末
	平成17年6月30日現在	平成18年6月30日現在	平成17年12月31日現在
【資産の部】			
流動資産	44,040	44,525	47,115
固定資産	39,624	44,007	43,740
有形固定資産	26,020	25,033	25,257
無形固定資産	1,198	1,810	1,459
投資その他の資産	12,405	17,163	17,023
資産合計	83,665	88,533	90,856
【負債の部】			
流動負債	32,783	32,791	36,327
固定負債	1,698	2,328	2,602
負債合計	34,482	35,119	38,929
【資本の部】			
資本金	20,359	-	20,359
資本剰余金	20,648	-	20,657
利益剰余金	16,469	-	17,780
土地再評価差額金	△7,413	-	△7,462
その他有価証券評価差額金	456	-	1,744
自己株式	△1,337	-	△1,153
資本合計	49,182	-	51,926
負債資本合計	83,665	-	90,856
【純資産の部】			
株主資本	-	59,150	-
資本金	-	20,359	-
資本剰余金	-	20,715	-
利益剰余金	-	19,117	-
自己株式	-	△1,041	-
評価・換算差額等	-	△5,736	-
その他有価証券評価差額金	-	1,297	-
繰延ヘッジ損益	-	429	-
土地再評価差額金	-	△7,462	-
純資産合計	-	53,413	-
負債純資産合計	-	88,533	-

■(株)千趣会 中間損益計算書

単位:百万円(単位未満切り捨て)

科目	前中間 会計期間	当中間 会計期間	前事業年度
	平成17年1月1日から 平成17年6月30日まで	平成18年1月1日から 平成18年6月30日まで	平成17年1月1日から 平成17年12月31日まで
売上高	73,663	74,050	144,058
売上原価	38,764	38,191	75,571
売上総利益	34,898	35,858	68,486
販売費及び一般管理費	33,648	34,020	65,794
営業利益	1,249	1,838	2,691
営業外収益	667	490	976
営業外費用	68	221	135
経常利益	1,848	2,108	3,532
特別利益	27	54	63
特別損失	1,395	82	1,762
税引前中間(当期)純利益	481	2,080	1,833
法人税、住民税及び事業税	9	11	18
法人税等調整額	505	238	221
中間(当期)純利益(△は損失)	△33	1,830	1,593
前期繰越利益	3,194	-	3,194
中間配当額	-	-	364
土地再評価差額金取崩額	1,539	-	1,490
中間(当期)未処分利益	1,620	-	2,931

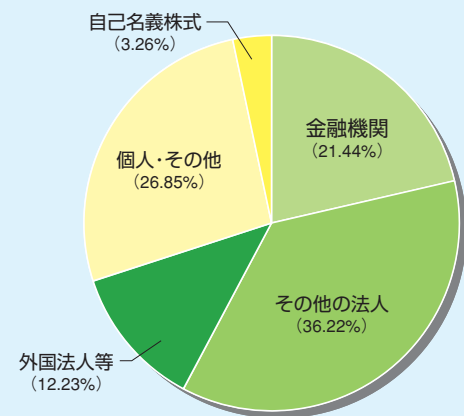
会社概要と株式のご案内

株式の状況

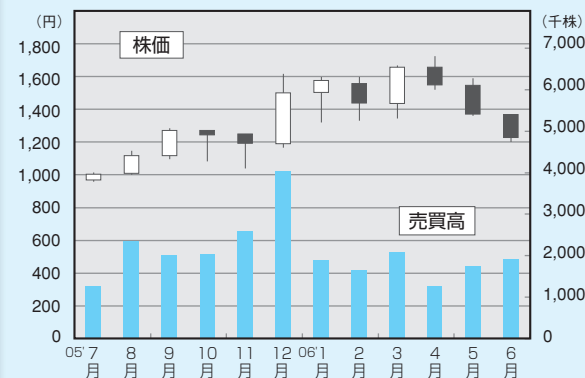
(平成 18 年 6 月 30 日現在)

発行可能株式の総数 180,000,000株
 発行済株式の総数 47,630,393株
 株主数 4,738名

●所有者別持株比率



●株価/売買高推移



会社の概要

(平成 18 年 6 月 30 日現在)

商号 株式会社 千趣会
 英文名 SENSHUKAI CO.,LTD.
 本社 大阪市北区同心1丁目4番31号
 東京支社 東京都品川区東五反田1丁目21番13号
 ランディック五反田ビル
 設立 昭和30年11月
 資本金 20,359,134,244円
 従業員数 781名
 連結従業員数 1,100名
 ホームページアドレス <http://www.senshukai.co.jp>

関係会社

(平成 18 年 6 月 30 日現在)

- 主な連結子会社及びその事業内容
- 千趣会ゼネラルサービス(株)
 本社 大阪市北区
 旅行業・情報提供サービス業
- 千趣運輸(株)
 本社 滋賀県野洲市
 貨物自動車運送業
- 千趣ロジスコ(株)
 本社 大阪市北区
 荷造梱包業
- 千趣会コールセンター(株)
 本社 千葉県印西市 (7月1日付にて大阪市北区に移転)
 テレマーケティング業務の企画・実施
- (株)ベルメゾン・サービスセンター
 本社 大阪市北区
 顧客対応サービス及びエリアマーケティング
 (9月1日付にて千趣会サービス・販売(株)に商号変更予定)

役員

(平成 18 年 6 月 30 日現在)

代表取締役社長 行待 裕弘
 専務取締役 堀井 紘一
 常務取締役 田川 喜一
 常務取締役 田辺 道夫
 常務取締役 澤本 莊八
 取締役 久保田 清
 取締役 藤由 和秀
 取締役 朝田 郁
 取締役 大石 友子
 常務執行役員 鳥取 捷二
 執行役員 吉田 詔
 執行役員 大山 幸次郎
 執行役員 大塚 康弘
 執行役員 道城 学
 執行役員 広田 建次
 執行役員 峯岡 繁充
 執行役員 中林 義博
 執行役員 星野 裕幸
 監査役(常勤) 佐野 誠
 監査役(常勤) 山岸 洋二
 監査役 羽間 平安
 監査役 小泉 英之
 監査役 森本 宏

会計監査人

新日本監査法人
 大阪事務所
 大阪市中央区安土町2丁目3番13号 大阪国際ビル

株式のご案内

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 基準日 定時株主総会 毎年12月31日
 期末配当金 毎年12月31日
 中間配当金 毎年6月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して
 定めた日
 株主優待 権利確定日及びカタログの初回発送時期
 12月31日…4月中旬初回発送予定
 6月30日…9月中旬初回発送予定

所有株数	カタログ掲載商品の割引
100～999株	10%
1,000株以上	15%

*一部、割引対象外カタログあり

株主総会 定時株主総会 3月
 臨時株主総会 必要の都度

公告の方法 電子公告により、以下のホームページに掲載します。
 (<http://www.senshukai.co.jp/koukoku>)ただし、事故その他
 やむを得ない事由により電子公告が出来ないときは、
 日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701
 東京都府中市日鋼町1番10

(電話照会先) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (住所変更等用紙のご請求)

☎0120-175-417
 (その他のご照会)

☎0120-176-417
 住友信託銀行株式会社 全国各支店

同取次所 単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
 大阪証券取引所市場第一部



〒530-0035 大阪市北区同心1丁目4番31号 電話(06)6881-3100
<http://www.senshukai.co.jp>



本紙は環境にやさしい
大豆油インキ 100%を
使用しています



本紙は環境にやさしい
古紙バルブ配合率100%
再生紙を使用しています